

第7回 西宮浜小中一貫校設置準備委員会 議事録

日 時：令和元年10月24日（木） 午後5時30分～午後6時45分

場 所：西宮市立西宮浜中学校 1階地域交流室

出席者：【委員】（12名）

大阪樟蔭女子大学山本教授、西宮マリナパークシティ協議会木村会長、
教育連携協議会木挽委員長、加藤主任児童委員、青少年愛護協議会中村会計、
西宮浜小学校PTA加藤会長、西宮浜中学校PTA堀兼会長、
西宮浜小学校清水校長、西宮浜小学校野田教頭、西宮浜中学校岡教頭、
津田学事・学校改革部長、佐々木学校教育部長

【事務局】（13名）

谷口学校教育課参事、奥谷学校改革推進課長、河内学校改革調整課長、
木戸学校教育課長、小笠原社会教育課係長、越智学校改革調整課係長
中津学校教育課係長、木田教育研修課係長、西川学校改革推進課指導主事、
足立学校改革調整課嘱託職員、宮崎学校教育課嘱託職員、
岡本学校教育課嘱託職員、木村社会教育課嘱託職員

配布資料：次第

【資料1】閉校式について

【資料2】就学説明会について

【資料3】西宮型コミュニティ・スクール（教育連携協議会）2019

【資料4】学校より

【資料5】PTAより

【資料6】前回以降の主な動き・今後の主な動き

1. 開 式

- 事務局が開催を宣言。
- 津田委員より開会の挨拶。

2. 閉校式について（協議）

委員長 ● 閉校式についての提案をお願いします。

事務局 ● 閉校式の内容について提案する。

<主な説明箇所>

- ・令和2年（2020年）3月25日（水）に西宮浜中学校体育館で開催する。
- ・2部制で実施し、1部は学校が2部は教育委員会が内容を検討する。
- ・来賓や保護者の案内は2部で行う。
- ・小中の卒業生にも在校中に案内をし、できる限りの参加を募る。
- ・大掛かりなイベントやセレモニーはせず、シンプルな内容とし、全体で30

- 分程度を見込んでいる。
- 委員 Q 中学校では生徒会が中心となり、スライドショーなどの準備をしている。全部で40分くらいになりそうだが、こうした方向で進めても良いか。
- 事務局 A 1部は学校が主体となり、児童生徒の活躍の場としても考えてもらいたい。2部の準備があるが、できる限りの準備は前日に済ませておくことで、1部の閉校式の内容を制限するようなことにならないようにしたい。
- 委員 Q 当日は体育館の校章や校歌はそのままなのか。
- 委員 A 学校側が閉校まで残しておいてほしいということなら、取り換え工事はそれ以降に調整する。
- 委員長 Q 卒業生の参加も促していくとのことだが、これについてはどうか。
- 委員 A 小学校6生と中学校3年生での閉校式のとらえ方は異なるように思う。
- 委員 A 3月31日まではその学校の児童生徒だ。そのことからして、できるだけ参加しようと声をかけたいと思う。
- 委員長 ● この案に沿って進めてもらいたい。

3. 就学説明会の開催について（報告）

- 委員長 ● 就学説明会の開催について報告をお願いします。
- 事務局 ● 就学説明会について説明する。
- <主な説明箇所>
- ・10月27日（日）10:00から西宮浜小学校 ランチルームで開催する。
 - ・電話での受付状況として、児童生徒数として41名の申し込みがあった。
 - ・西宮浜義務教育学校児童生徒募集要項について説明。
(申込資格、申込期間、募集人数、兄弟姉妹枠の設定がないことなど)
 - ・資料等は市のホームページで直ちに公開する。
- 委員 Q 7年生と9年生の募集人数は『若干名』とされているが、何人を抽選することになるのか。
- 事務局 A 小、中学校に進学見込みのアンケートを取ってもらった。この人数をもとに各学年3学級をとらないようにとの基本的な考え方のもと募集人数を設定している。今後の転出入の状況を確認し、11月29日の段階で何人をとるのかをホームページで公表する予定である。
- 委員長 Q 今回の説明会に参加する人数は把握しているのか。
- 事務局 A 電話受付時に何名での参加予定かを尋ねているので把握はできている。

4. コミュニティ・スクールについて（報告）

- 委員長 ● コミュニティ・スクールについて報告をお願いする。
- 事務局 ● コミュニティ・スクールについて説明する。
- <主な説明箇所>
- ・コミュニティ・スクールのねらいとして、「地域とともにある学校」、「学校を核とした地域づくり」の2つがある。
 - ・西宮浜義務教育学校を市内初のコミュニティ・スクールのパイロット校として開校できるよう、これまでの設置準備委員会にて出された地域からの要望なども取り入れながら準備している。
 - ・校章・校歌については制定委員会を設置し、地域の方々の声を取り入れながら作成し、教育連携協議会にて決定してきた。
 - ・学校教育目標の実現のために、学校と地域が目標とビジョンを同じにして何ができるかを話し合っていくことが大事である。
 - ・今後西宮市において、コミュニティ・スクールを進めていく中で、西宮浜義務教育学校での取組を参考にしていきたい。
- 委員長 Q この西宮浜義務教育学校が初のコミュニティ・スクールになるということだが、今まで協議していることを継続していけばよいということか。
- 事務局 A その通りである。

5. 各種報告について

1. 学校より

- 小校長 ● 小中学校より進捗状況の報告を行う。
- <主な報告箇所>
- ・小学校と中学校で話し合いを重ねながら進めている。これからは教職員と共に学校内のカリキュラム等を充実させていく時期だと考えている。小中ともに職員会議で、新たに作り上げていこうと話をしている。
 - ・校章が教育連携協議会で承認された。11月1日に小中同時に学校だよりで公表する。
 - ・校章は児童生徒のデザインをもとに作成し、原案を考えた児童生徒に対しては感謝状のようなものを渡す予定である。
 - ・校歌は中西覚先生に依頼している。児童生徒より残したい言葉や入れたい言葉についてアンケートをとり、それらをもとに歌詞を考えてもらい、教育連携協議会で了承された。引き続き作曲に取り掛かってもらっている。
- 委員 Q 歌詞にある『培おう』にルビを打てばよいとは思いますが、これはルビなしで読んでもらおうということか。
- 小校長 A その通りだ。

2. PTAより 中P会長

- PTAの進捗状況の報告を行う。
- <主な報告箇所>
- ・PTA臨時総会を開き、新たなPTAの会則や組織などの提案を行う。

- ・ 役員の負担が大きくなりすぎないように、各活動の見直しを行っている。
- ・ 保護者からの PTA に関する質問は多い。義務教育学校になっても、小学校や中学校での PTA 役員履歴を引き継ぐ計画である。また、通学の服装や体操服については移行当初において変更もない。
- ・ 8 月の西宮浜小中一貫校 PTA 設置準備会には小中両校長にも参加いただいている。

3. 庁内開校設置準備
委員会の報告

事務局

- 第 11 回、12 回庁内開校準備委員会について報告する。

<主な報告箇所>

- ・ 改修工事の進捗状況について
- ・ 育成センターの利用について
- ・ 来年度の児童数のおよび学級数の見込みについて
- ・ 義務教育学校移行における変更点のまとめについて
- ・ 遠距離通学における補助の可否について
- ・ 附属校化に向けた教育研修課の体制について
- ・ 校名決定の経緯の公表について

4. 前回以降および
今後の動きについて

事務局

<主な報告箇所>

- ・ 学校説明会を市内 6 か所で 8 月 17 日、18 日に開催した。
- ・ 学校事務研究会との打ち合わせを行った。
- ・ 西宮浜小中マリナフェスティバルを開催し、学校公開の機会にもなるよう対応した。
- ・ 10 月 16 日に西宮浜小学校研究発表会が開催された。
- ・ 10 月 27 日に就学説明会を開催し、翌日から児童生徒の募集を行う。

6. 質問・意見

委員
小校長

- Q 特別支援学級のクラス名は義務教育学校になると 1 つになるのか。
- A 現在のところは今まで通りの名称のままの予定だが、最終決定したわけではない。施設設備の整備を優先して進めてきた。これからクラス名やカリキュラムについて検討していく。

事務局

- 次回の本委員会については、報告内容を固めた上で 1 月以降を予定している。

委員長

- 懸案課題がいくつかあるのだと思う。よろしくお願ひしたい。

6. 閉 式

- 委員長が閉会を宣言。